

平成 26 年 度 事 業 報 告

里 親 開 拓 運 動 (愛 の 手 運 動)

(1) “あなたの愛の手を” の申込者状況

申込者数 < 第 1 表 >

年度		平 20	平 21	平 22	平 23	平 24	平 25	平 26	協会発足 以来合計
神 戸	市 内	7 7	5 6	1 0 0	1 0 9	7 1	8 4	1 0 0	6 9 6 2
	県 下	1 2 8	1 3 8	1 5 4	1 5 8	1 6 7	1 5 8	1 6 8	1 0 5 2 4
	その他	1 3	1 3	6	7	1 1	9	1 0	1 1 4 3
	計	2 1 8	2 0 7	2 6 0	2 7 4	2 4 9	2 5 1	2 7 8	1 8 6 2 9
大 阪	市 内	4 4	3 9	4 3	5 2	4 6	4 4	3 3	—
	府 下	5 3	4 8	4 9	7 0	4 8	7 0	7 8	—
		(1 0)	(2)	(4)	(5)	(8)	(5)	(1 2)	
	その他	1 6 9	1 3 5	1 6 4	1 9 5	2 5 0	1 3 8	1 5 4	—
計	2 6 6	2 2 2	2 5 6	3 1 7	3 4 4	2 5 2	2 6 5	2 3 8 9 0	
合 計	4 8 4	4 2 9	5 1 6	5 9 1	5 9 4	5 0 3	5 4 3	4 2 5 1 9	

神戸（神戸新聞・ラジオ関西）、大阪（毎日新聞大阪版・奈良版・京都版・滋賀版・和歌山版）における毎週 1 回の呼びかけに対する申込者数の状況は < 第 1 表 > の通りである。府下の（ ）書きは、堺市在住者。

(2) 家庭委託状況

平成 2 6 年度中に協会が取り扱った要養護児童の状況 < 第 2 表 >

		取 扱 児童数	取 扱 い 状 況						
			協 会 委 託	児相よ り委託	推 薦 中 面会中	実 引 親 取	里親探 し中止	適 任 者 な し	人 選 中
神 戸	愛 の 手 掲載児童数	3 7	1 3	3	6	4	1	0	1 0
	そ の 他 取扱児童数	4	4	0	0	0	0	0	0
	計	4 1	1 7	3	6	4	1	0	1 0
大 阪	愛 の 手 掲載児童数	9 5	1 7	8	6	0	9	1 3	4 2
	そ の 他 取扱児童数	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	9 5	1 7	8	6	0	9	1 3	4 2

平成 26 年度中に委託した児童の年齢と委託予定期間 < 第 3 表 >

年 令		0	1	2	3	4	5	6	10	13	計
期 間								～	～	～	
神 戸	養子縁組	3	1		3			1			8
	期間不定			1					2		3
	短期										0
	週末					1	1	1		3	6
小 計		3	1	1	3	1	1	2	2	3	17
大 阪	養子縁組	3	2	2	2	1	4	1			15
	期間不定										0
	週末里親						1		1		2
	小 計	3	2	2	2	1	5	1	1	0	17
合 計		6	3	3	5	2	6	3	3	3	34

(3) 協会発足以来、里親探しを行った児童の状況

昭和 37 年から協会が取り扱った児童の状況 < 第 4 表 >

現 在 の 状 況		神戸事務所 S37～ H27.3 月末	大阪事務所 S39～ H27.3 月末	合 計	
里 親 へ 委 託 し た 児 童	現在里親委託中	神戸市内	16	—	16
		兵庫県下	32	—	32
		大阪市内	—	3	3
		大阪府下	—	4	4
		堺市	—	1	1
		その他	4	9	13
	養子縁組が完了したもの		686	1072	1758
	就職および大学進学		122	30	152
	実親家庭へ復帰したもの		134	73	207
	事情があって里親から施設へ		91	93	184
	死亡したもの		3	0	3
	小 計		1088	1285	2373
	児童相談所から委託したもの		40	326	366
	週末里親へ委託中のもの		41	6	47
週末里親への委託完了したもの		95	56	151	
小 計		136	62	198	
未 委 託 児 童	現在児童相談所へ推薦中のもの	6	6	12	
	人 選 中	10	42	52	
	実親等の引き取りのため中止	269	310	579	
	里親委託方針の変更（施設）	408	664	1072	
	里親探し中に死亡	4	1	5	
	小 計	697	1023	1720	
合 計		1961	2696	4657	

協会が昭和 37 年以来（大阪は昭和 39 年以来）里親探しを行った児童の現状の内訳は < 第 4 表 > の通りである。

平成26年度 事業報告

－ 神戸事務所 －

I 里親家庭及び養育希望者のための研修とレクリエーション

養育希望者のための研修

里親や養親を希望する人たちのために今年度は次のような研修を行った。

■里親認定のための研修

(1) 養育里親基礎研修

兵庫県と神戸市から委託を受け、基礎研修4回、認定前研修3回を実施した。基礎研修は、ビデオやパワーポイントを活用し、里親制度の基本的な意味と役割等について解説し、グループ討議などを行った。なお、養子縁組を希望する人たちにも社会的養護の重要性から、研修の受講をすすめている。26年度の受講者は延250人。

		日 時	会 場	参加者数 (人)	う ち	
					兵庫県	神戸市
第1回	講義	平成26年 4月19日(土)	神戸市総合福祉センター 第1研修室	32	16	16
	実習	5月16日(金)	神戸少年の町・少年の町乳児院	30	18	12
第2回	講義	7月17日(木)	神戸市総合福祉センター 第1研修室	34	24	10
	実習	8月26日(火)	神戸真生塾・真生乳児院	31	24	7
第3回	講義	10月25日(土)	たちばな職員研修センター 研修室	31	22	9
	実習	11月27日(木)	神戸少年の町・少年の町乳児院	28	17	11
第4回	講義	平成27年 3月4日(水)	あすてっぷK O B E セミナー室1	38	25	13
	実習	4月13日(月)	神戸真生塾・真生乳児院	26	16	10
(延べ人数) 合 計				250	162	88

(2) 養育里親認定前研修

		日 時	会 場	参加者数 (人)	う ち	
					兵庫県	神戸市
第1回	講義	平成26年 5月24日(土) 25日(日)	神戸市総合福祉センター 第1研修室	59 58	37 36	22 22
	実習		県内および神戸市内の乳児院・ 児童養護施設で実施(2日間)	51	28	23
第2回	講義	9月28日(土) 29日(日)	姫路市市民会館 第1教室 第2教室	25 23	19 19	6 4
	実習		県内および神戸市内の乳児院・ 児童養護施設で実施(2日間)	21	19	2
第3回	講義	11月30日(土) 12月1日(日)	神戸市総合福祉センター 第1研修室	39 39	25 23	14 16
	実習		県下及び神戸市内の乳児院・ 児童養護施設で実施(2日間)	39	23	16
(延べ人数) 合 計				354	229	125

■養子縁組を希望する人のための研修

・養子を育てたい人のための講座

今年度は神戸、姫路、西宮で各1回、計3回開催した。

神戸会場では2日間のプログラムで構成し、1日目はドキュメンタリーフィルムを見てグループ討議し、2日目は養親の子育て体験談を中心に、小グループに分かれて話し合いの時間をもった。講座への受講者募集は新聞やチラシによる広報の他、県下の市町の広報誌に掲載を依頼し、協力していただいている。

今年度は西宮と姫路会場で2日間のプログラムを1日で行うプログラムを実施した。受講者は42家庭71人。

会場	場 所	日 時（各土曜日）	参加人数
神戸	神戸市総合福祉センター 第6研修室	平成26年6月21日・28日 13:30～16:00	16家庭 28人
西宮	西宮市中央公民館 402, 403	平成26年11月29日 10:00～16:20	15家庭 25人
姫路	姫路市国際交流センター 第1、第2会議室	平成27年3月8日 10:00～16:20	11家庭 18人
計			42家庭 71人
プログラム			
第1部	ドキュメンタリーフィルムの上映とグループ討議 パワーポイントを使って里親・養親を求める子どもたちの現況の解説		
第2部	養親の子育て体験談 養親子関係を築くために考えておきたいこと（グループ討議） 養子を迎えるための手続き・養子制度の説明他		

里親家庭のための研修と支援

（1）里親のための子育て研修会

「保育ボランティア養成と家族支援講座」と里親研修をジョイントして、次のように2回実施した。

日 時	平成26年7月7日（月）/14日（月）10:00～12:00
場 所	神戸市総合福祉センター 第1研修室
テ ー マ	「気になる子どもたちの理解と支援」
講 師	萱村 俊哉氏（武庫川女子大学短期大学部教授）
参加人数	57人（うち里親18人）/ 59人（うち里親18人）

（2）養育里親更新研修

登録里親の5年毎の更新研修が25年度より行われるようになり、26年度は以下のように実施した。5年前の登録里親のうち67人（兵庫県56人、神戸市11人）が受講。実習が必要な里親6人には児童養護施設での1日実習を行った。

		日 時	会 場	参加者数 (人)	うち 兵庫県	神戸市
第1回	講義	平成26年 6月29日（日）	神戸市総合福祉センター 第1研修室	27	20	7
第2回	講義	10月4日（土）	宝塚市男女共同参画センター 研修室	16	14	2
第3回	講義	平成27年 1月29日（木）	姫路市国際交流センター 第1、第2会議室	24	22	2
各回	実習		県下及び神戸市内の 児童養護施設で実施	6	5	1
合 計				67	56	11

※ 合計の中には実習者を含む

(3) 専門里親研修

今年度は兵庫県の里親2名、神戸市の里親1名の養育実習を行った。実習の日程及びプログラムは下記の通り。

日程	実習場所	プログラム
1日間	情緒障害児短期治療施設 県立清水が丘学園	11:00～14:30 ①オリエンテーション ②施設の説明と見学 ③講義「子どもの発達と虐待について」
4日間 (うち1泊の 宿泊を伴う研 修含む)	児童養護施設 淡路学園	・児童養護施設の機能 ・被虐待児への日常生活における援助方法 ・被虐待児の家庭復帰にむけた援助 ・子どもの権利を守る取り組み
1日間	①知的障がい児施設 五色精光園 ②知的障がい児施設 おかば学園	10:30～16:30 知的障がい児施設の機能 知的障がい児の理解と支援
1日間	兵庫県 中央こども家庭センター	13:30～16:30 ①講義「発達障害の理解」 ②講義「関係機関との連携」 ③実習の評価及び意見交換 ④一時保護所の見学

(4) 養子縁組制度の説明と懇談会

これから養子縁組の手続きを考えている養育中の里親を対象に「養子縁組制度の説明と懇談会」を下記のように行った。また、すでに縁組を行っている養親にも参加していただき、養育経験を語っていただいた。

日時	平成27年1月22日(木)
場所	神戸市総合福祉センター4階 第2研修室
参加者	8人

(5) 真実告知研修会

19回目となる今年度の真実告知研修会は第1部で「2人の養子を育てて」というテーマで成人した2人の養子を育てている養親から、これまでの養育について話をさせていただいて意見交換。

第2部では「こんなときどうする?」というテーマで4つのグループに分かれ、①初めての告知のきっかけとタイミング、②知人・近隣への対応、③その後の子どもの理解や質問にどう対応するか、について話し合った後、協会から告知に関する基本的な事柄についてまとめをした。

日時	平成27年3月21日(土)
場所	たちばな職員研修センター研修室
参加者	32人

(6) 里親支援プログラム

■「里親サロン」の開催

11年目になる里親サロンは1年間に延べ338人（里親214人、子ども124人）の親子が参加。サロンには欠かせない保育ボランティア延べ36人に一時保育のご協力をいただいた。夏休み、クリスマス会、春休みなどに特に多くの親子の参加があった。県下の各地域から参加があり、特に子どもを受託して間もない里親にとっては先輩里親の経験から学べる良い機会になっている。

里親サロン開設月と参加人数

月		H26									H27			
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
参加 人数 (人)	里親	10	12	15	23	13	11	16	15	62	14	11	12	214
	子ども	5	5	6	19	13	4	6	8	44	6	4	4	124
	保育ボラ ンティア	3	3	3	5	3	3	3	4		2	4	3	36
	計	18	20	24	47	29	18	25	27	106	22	19	19	374

■里親家庭で育つ子どものための学びのサポート

里親家庭の小学生を対象に、学びのサポートを昨年からは開始。小学校教員経験のある方に里親に親として子どもの学習にどうかかわればよいのか等、希望に応じて相談を受けた。

	対象	夏休み	春休み
(1) 里親からの個別相談	里親	3人	4人
(2) 「子どものための学ぼうや教室」	子ども	4人	8人

里親家庭の親睦と交流

(1) 第47回ぼんぼこキャンプ

今年度は高知県の「国立室戸青少年自然の家」で3日間キャンプを行ったが、あいにくの雨と霧のため屋内でのプログラムが中心になった。キャンプ2日目に少し晴れ間があり、室戸岬を探勝することができた。今回は参加者が多く、初めてバス2台を使用した。

日 時	平成26年8月15日(金)～17日(日) 2泊3日
場 所	国立室戸青少年自然の家 (高知県)
参加人数	84人

(2) 新春初笑い大会

例年の会場となっている建物が耐震工事中で使用できないため、近くの別の会場で行った。午前中は3カ所のポイントでゲームを行うオリエンテーリングを実施した後、レストランでバイキングの昼食。午後は4つのグループに分かれての競技。今回は新しいゲームも多く新鮮な楽しみ方ができた様子だった。

日 時	平成27年1月11日(日) 10:30～15:00
場 所	たちばな職員研修センター
参加人数	109人

グループぽんぽこの活動

中・高校生の里子、養子及びボランティアを中心とした「グループぽんぽこ」の活動は以下の通り。

平成26年	8/2	キャンプの打合せと準備会
	8/15	「国立室戸青少年自然の家」で開催された「第46回ぽんぽこキャンプ」への協力
	～17	
	9/6	キャンプの振り返り会
	12/18	「新春初笑い大会」スタッフ打合せ
平成27年	1/7	「新春初笑い大会」の準備会
	1/11	「新春初笑い大会」への参加と運営協力（会場運営、司会進行他）
	3/29	「チャリティ映画会」への参加（バザー品の販売、ゲーム大会の進行）

II 季節里親・週末里親の促進事業

(1) ボランティア里親の募集と説明会

季節里親・週末里親を募るための説明会を11月8日に開催。プログラムは養護児童の現状についてパワーポイントで説明、ボランティア里親の意味や役割について話した後、週末里親さんから自身の活動について話していただき、参加者との意見交換を行った。説明会の後、希望者には受付面接を行った。

日 時	平成26年11月8日（土） 13:30～16:00
場 所	あすてっぷK O B E セミナー室3
参加人数	22人

(2) 季節・週末里親の活動報告と交流会

今回は身体にハンディーのある児童と交流を続けている週末里親と、児童養護施設の施設長からそれぞれ報告をしていただいた。昼食をはさんで午後は5つのグループに分かれて日頃の交流の楽しみや悩み、課題について話し合った。

日 時	平成27年3月1日（日） 10:00～14:30
場 所	神戸市総合福祉センター 第1会議室
内 容	第1部 週末里親と施設からの活動報告 第2部 昼食後はグループに分かれて参加者相互で意見交換
参加人数	28人

委託・交流中の児童の状況（神戸事務所）

季節里親

年齢別 人数	幼児 (2～6)	小学生 低学年 (6～9)	小学生 高学年 (9～12)	中学生 (12～15)	高校生 (15～)	合計
夏 季	6	12	14	11	9	52
冬 季	5	12	14	12	10	53

夏季には52名の児童が47家庭に、冬季には53名の児童が49家庭に引き取られている。子どもの年齢内訳は上記の通りである。

1回の委託期間は、概ね5日～10日である。また、春休みや連休、旅行など里親家庭の家族行事に呼ばれている子どももいる。

週末里親

〈平成27年3月末〉

年齢別	幼児 (2～6)	小学生 低学年 (6～9)	小学生 高学年 (9～12)	中学生 (12～15)	高校生 (15～)	合計
人数	4	10	11	10	6	41

今年度末で週末里親に委託が継続されている児童は41人。年齢の内訳は上記の通り。中高生の場合は児童を中心に里親、施設等関係者の連携が大切である。

施設退所や養育里親への委託等で週末里親との交流が終了した児童は3名いた。

Ⅲ 子育て支援活動

(1) 子育てを楽しむ「親子講座」

・「親子陶芸教室」

日 時	平成26年7月30日（水）午前10時～12時 8月27日（水） 〃
場 所	神戸市生涯学習支援センター(コミスタこうべ)3階
講 師	陶 芸 家 西 脇 正 明 氏 ゲーム指導 射 場 初 百 合 氏
参加人数	12家庭 30人（うち、里親家庭の親子2組4人）

(2) 「子育てサポートグループぼちぼち」の活動

保育ボランティアの登録者と、親支援プログラムの修了者や講座などへの参加者で、一時保育の相互援助活動を組織化し、一時保育つきのプログラムを提供している。

(イ) 一時保育活動

里親サロン、里親家庭のための研修、養育里親研修、保育ボランティア養成と家族支援講座、母親グループの座談会、子育て支援講座などで一時保育を実施し、協会がボランティアコーディネートを行っている。

(ロ) 「保育ボランティア養成と家族支援講座」の開催

保育ボランティアを募集・養成する目的と、里親家庭、地域の子育て家庭にも役に立つ知識を提供する目的とをかねて、協会と「ぼちぼち」の共催で今年度は7月に2回行った。

(ハ) 子育て座談会

毎月1回程度、育児中の母親が集まって近況や悩みなどを話し合ったり、情報交換をしたり、テーマについて学ぶ座談会を開催。

時おり小学校の先生など相談にのっていただける方をゲストとして招いた。

(ニ) 勉強会の開催

今年度はぼちぼちのグループメンバーからの希望によって、小学校高学年の親子を対象

にした性の健康教育講座、学校に行きにくい子どもへの支援を体験談から学ぶ勉強会、育てにくさのある子どもとの関わりや中学卒業後の進路選択についての勉強会を開催した。

月日	会場	参加者	タイトル/講師
H26 8/29	神戸市総合福祉センター	18人	親子で学ぶ性の健康教育講座：小学校高学年対象 「大切にしよう！わたしとあなたの心とからだ」 講師：徳永桂子 氏
H27 2/17	神戸市総合福祉センター 第3研修室	10人	「学校に行きたいけど行けない・行きにくい」 講師：濱田理恵 氏
3/11	神戸市総合福祉センター 第4研修室	13人	「こどもの進路選択についての勉強会」 講師：江元くみ子

IV 里親支援に関わるWORKERのための研修

今年度は第2回目の里親支援に関わるWORKERのための研修を開催した。関西・西日本の里親支援機関や里親支援専門相談員、児童相談所の里親担当者、施設職員等に呼びかけ、下記のようなプログラムを実施した。「来年はケースマネジメントの事例が知りたい」との声が多くあった。

日時	平成26年11月25日（火）10:30～16:30
場所	あすてっぶKOB E セミナー室1, 2
テーマ	「里親養育におけるケースマネジメントとは何か？」
プログラム	第1部 講演 「里親養育におけるケースマネジメントとは何か？」 講師 芝野 松次郎氏（関西学院大学教授・協会理事長） 第2部 報告 ①「アメリカにおける里親養育ケースマネジメントの実際」 畠山由佳子氏（神戸女子短期大学准教授） ②「家庭養護促進協会の実践から」 米沢普子（協会主任ケースワーカー） 終了後、参加者の交流会
参加者	98人

V 里親・養子縁組相談支援事業

兵庫県より補助金を受けて、予期しない妊娠でとまどっている人たちを支援するための事業を行った。研修会等で「子育てサポートカード」を配布し、里親・養子縁組についての取り組みの広報を行なった。

相談件数は多くはないが、受理した養護相談についてケースワーカーが面接、家庭訪問などの支援を行った。そのうち1件については実親への支援を行うと共に新生児の養育が今後とも困難と判断し、養子縁組を前提に里親に委託し、継続してサポートを行っている。

VI 広報活動

(1) 里親制度をすすめるための講演とシンポジウム

毎年一般市民を対象に神戸市里親会と共催しているが、今年は奈良の作家 寮美千子氏を招いて講演を聞き、第2部ではグループに分かれて里親の養育経験をそれぞれのグループで聞き、参加者との意見交換を行った。

日時	平成26年11月2日（日）13:30～16:30
場所	あすてっぷK O B E
参加人数	109人
プログラム	第1部 講演 講師 寮 美千子 演題「詩が開いた心の扉」 ～空が青いから白をえらんだのです。 奈良少年刑務所詩集～ 第2部 里親さんとトーク グループに分かれて里親さんから養育経験を聴き、 意見交換

(2) 子どもの日キャンペーン

5月5日子どもの日の神戸新聞朝刊1ページ県下版で37回目のキャンペーンを実施。今回は「生まれてきてよかった」というキャチフレーズに、雨上がりの水たまりに3人の親子の姿が映っているイメージ写真を使い、コピーには「いのちのつながり」について母から娘への実際のメッセージを掲載した。この企画も高く評価され、神戸新聞広告賞（銅賞）を受賞した。協賛企業・団体 30社

(3) 愛の手運動の写真とパネル展、オレンジリボンキャンペーンの開催

平成26年12月11日～14日の4日間「ギャラリーメトロ」で愛の手運動の写真とパネル展、チャリティバザー、児童虐待防止のオレンジリボンキャンペーン等を行い、啓発を行った。

(4) 里親出前講座

神戸市里親会と共に実施している「里親出前講座」を協会がコーディネートして、以下の大学等で行った。

武庫川女子大学、神戸学院大学、関西学院大学、神戸親和女子大学、姫路市南大津公民館、神崎町民生委員児童委員協議会、明石市民生委員児童委員協議会、公開出前講座
受講者 延べ695人

(5) 機関誌「育てる」No. 51を大阪事務所と3550部を7月に発行。（共同募金配分金事業）

(6) 機関紙「は一もにい」を7月、10月、12月、27年3月にそれぞれ2900部発行。

(7) 共同募金配分金を受けてクリアファイルを4種類（A4版2種類、A5版2種類）1万枚を作成。イラストは岡田淳氏に依頼。これから研修会、講座等で活用していきたい。

(8) 「里親・養子を理解するための本」という冊子を600部出版。（生駒温子児童福祉基金助成事業）

(9) 「里親のためのペアレント・トレーニング」（武田 建・米沢普子共著）をミネルバ書房から2500部出版。

(10) ホームページの刷新。スマートフォンやタブレット端末でも見るができるように変更し、レイアウトなどもより見やすくする予定にしている。

(11) 他府県の里親研修や里親希望者の研修に講師として出講し、広報や交流につとめた。

(12) 「里親制度をすすめるために～愛の手運動のしおり」を2000部発行。

Ⅶ 職員のための研修

次のような研修会に参加し、職員のための研修を行った。

- ①社会的養護研究会（7/2）
- ②近畿地区里親研修会（7/12）
- ③福祉のまちづくりセミナー（7/30）
- ④清水が丘学園児童心理臨床セミナー公開講座（8/8）
- ⑤「子育て支援フォーラムin兵庫」（9/6）
- ⑥全国里親大会（10/18～19）
- ⑦社会的養護研究会（10/31）
- ⑧第17回「学習障害児（LD）理解のための基礎と実践講座」（1/24）
- ⑨専門里親と施設職員との意見交換会（1/28）
- ⑩大阪YMCA「自立支援セミナー」（2/14）
- ⑪養子と里親を考える会（2/28）

Ⅷ 生活資金・奨学資金貸付事業

元里子の男性から生活費支援のための資金の申請があり、300,000円の貸付を行った。毎月1万円の返済の予定。他に運転免許を取得のために資金の相談を受けている。

Ⅸ 活動資金を募るための活動

今年も活動資金を募るために他団体主催のバザーに出店したが、収益はあまり増えていない。また、個人や団体からも多くの寄付やバザー品が寄せられ、活動を支えていただいた。

5/5	神戸新聞紙上で第37回目の愛の手広告キャンペーンを実施。協賛団体30社	
5/18	神戸まつりの湊川公園「はっぴいひろば」バザー	80,960 円
11/13	神戸市手をつなぐ育成会「合同福祉バザー」	52,390 円
12/11	「ギャラリーメトロ」チャリティバザー	414,690 円
～14		
27年3/8	重心父母の会バザー	57,830 円
3/29	チャリティ映画会バザー	14,030 円

兵庫県芸術家協会からはチャリティコンサートの収益を、有馬向陽閣、銀水荘別館兆楽からはチャリティボックスの寄付を毎年協会に寄せていただいている。

Ⅹ その他

- (1) 元兵庫県職員の王子 正氏のご遺族より「生前の本人の遺志」として協会に1億円の遺産を寄贈していただいた。
- (2) 神戸市を通してオリックスから野球観戦のチケットを、劇団自由人会から芸術文化センターでの観劇、また木下サーカスからご招待をいただいた。
- (3) (公財)神戸やまぶき財団の社会福祉助成金に印刷機の購入を申請し、180万円の助成が認められ、高速カラービジネスプリンター「オルフィスEX7200」を購入した。
- (4) 神戸市総合福祉センターの耐震工事のため、事務所が2階から4階に一時的に移転した。28年初め頃に元の場所に戻る予定。

◇ 平成26年度 事業報告大阪事務所 ◇

I. 里親及び申込者のための研修と里親子のための親睦活動

【養子を育てたい夫婦のための連続講座】

申込者の高齢化が進み、初回来所から委託までの期間が短くならざるを得ないので、委託前にはできるだけ講座を受講するよう勧めている。大阪府下、近畿圏、協会経由で委託をおこなった近畿圏外の児童相談所にも案内を送付しており、児童福祉司や里親支援専門相談員、不妊治療クリニックの職員など、オブザーバー参加が非常に多かった。例年、6月、10月、3月に開催していたが、今年は2月に開催している児童相談所里親担当者連絡会議の日程に合わせ、連続して講座も受講してもらえるよう2月に開催し、児相職員のオブザーバー参加があった。

講座は、連続3回で土曜日13時30分から17時（最終回は17時30分）。のべ53組の受講者のうち、養親候補者として推薦したのは8組、調査検討中3組である。児童相談所から勧められて講座を受講し、その後に地元児相や民間団体からの紹介で子どもを受託している夫婦も増えている。

		第75回	第76回	第77回
日 時		6/7, 14, 21	10/4, 11, 18	2/7, 14, 21
場 所		大阪市立社会福祉センター会議室 他		
内 容	1 グループセッション	参加者と職員とのワーク		
	2 「養子里親の体験談」から	T夫妻	Y夫妻	I夫妻
	3 「養子を育てること」とは・・・	岩崎 美枝子		
参 加 者		19組	17組	17組
オブザーバー参加者		11名	9名	6名

【成長した子どもからのメッセージ】

例年3月頃に開催してきたが、今年度は50周年記念事業として、『成長した子どもからのメッセージ スペシャル』という形で、20人の元里子、養子の体験を聞く会を企画したため、実施せず。

【里親子の親睦を深めるための活動】

(1) ふれあいキャンプ（於：YMCA阿南国際海洋センター）

8月19～21日に実施。台風、大雨の影響で、海洋センターに通じる道路が土砂崩れの被害に遭ったり、事前のオリエンテーションが中止になったりと、開催が危ぶまれたが、大型バスが通行不可の陸路の部分は漁船での移動手段を確保していただき、無事に開催できた。3日間とも快晴に恵まれ、カヤックやカヌーなど、プログラムを満喫した。実施にあたり、公益社団法人毎日新聞大阪社会事業団より18万円、大阪南YMCAよりバス代の助成をいただいた。

参加者 子ども20名、大阪南YMCA 8名、サブリーダー2名、協会職員4名

(2) 第16回 おやこDEうんどう会（於：大阪市立長居小学校）

11月2日（日） 午前中はグラウンドで開催できたが、次第に雲行きが怪しくなってきた。昨年、天候の急変で運動会史上初めて途中中止となってしまったため、今年は開催前から、体育館に移動できるように準備をととのえて、午後からは体育館でおこなった。公益財団法人大阪コミュニティ財団ふれあい基金のご支援を受けておこなっている。

参加者 41家庭（118名）、3施設（13名）、ボランティア26名、来賓3名

(3) JBクラブ

養（里）子を養育中の母親（父親）が、子ども連れで集える「ひろば」の開催を平成18年度より継続。月に1回（10:30～15:00）、主に就園前の幼児を養育中の養（里）親家庭が参加してくれているが、夏休みやクリスマス会は就園児の参加も多い。養母同士のつながりも密になっており、親しく会話を交わす様子がみられる。公益財団法人大阪コミュニティ財団ふれあい基金のご支援を受けておこなっている。毎月1回、計12回開催し、参加者はのべ103家庭。

(4) JBのOB会

平成23年度より夏休みに小学生以上の養（里）子と保護者を対象に企画。

7月31日（木）に実施し、6家庭参加。

(5) エリカの会

小学校入学前や既に小学生になった高年齢の子どもを受託した養親を対象に企画。長らく固定メンバーでの実施になっていたが、今年度は新たに委託を受けた里母が参加し、先輩養親と交流した。

7月4日（金） 参加者5名 協会4名

【児童相談所里親担当者会議の開催】

大阪府・市の子どもを委託したことがある全国の児童相談所によびかけての里親担当者会議は、今年で26回目となった。例年通り2日間の日程を組み、1日目を研修会、2日目を学習会とした。また、1日目の夜には交流会をおこなった。

日 時	2月5日（木）	研修会	13時30分～17時30分
		交流会	18時～21時
	2月6日（金）	学習会	9時30分～12時
場 所	大阪市立社会福祉センター		
内 容	1日目	「真実告知がもたらす親子の関係」 講師 あいだ ひさ氏（養親） コーディネーター 岩崎美枝子 「各所報告：告知やルーツ探しについて」	
	2日目	「里親希望者への面接・調査、アセスメントについて」 進行 岩崎美枝子	

参加児相 福島県中央、福島県県中、栃木県中央、埼玉県中央、埼玉県熊谷、さいたま市、横浜市西部、横浜市北部、福井県総合、福井県敦賀、浜松市、愛知県西三河、愛知県豊田加茂、名古屋市西部、兵庫県中央、兵庫県西宮、兵庫県豊岡、神戸市、岡山県倉敷、岡山市、徳島県中央、福岡県田川、福岡市、長崎県佐世保、奈良県中央、奈良県高田、京都府、京都府宇治京田辺支所、京都市、三重県中勢、三重県北勢、大阪府中央、池田、吹田、東大阪、富田林、堺市、大阪市
1日目 34児相（40名） 2日目 37児相（43名）

II. 里親制度に関する広報活動

【機関紙・誌の発行】

(1) 月刊紙「あたらしいふれあい」の発行

大阪府共同募金会の配分金をいただき、3,500部を印刷し、約3,000部発送。表紙のカット、発送作業のすべてにボランティアの協力を得て、毎月の発行を継続している。

(2) 年刊誌「育てる」の発行

No. 51を大阪・神戸事務所あわせて3,550部発行。大阪事務所では、会員、関係機関等に1,850部送付している。

【一般向けチラシ・冊子等の作成】

(1) 協会リーフレット（増刷）：5,000部

(2) 週末里親広報用チラシ（増刷）：20,000部

【一般向けの広報】

日本財団から、養子縁組事業をおこなっている民間団体に対する助成金（ゆりかご助成金）をいただき、新たな形での広報活動をおこなうことができた。

(1) スルッとKANSAIおでかけ情報誌『Asobon!（アソボン）』への広告掲載

私鉄、バスなど、スルッとKANSAIエリアの約800駅に置かれており、45万部の発行部数である情報誌の3・4月号（3月1日発行）に、『ぼくにもほしいパパとママ あなたのぬくもりを必要とする子どもがいます』と呼びかける、1ページの全面広告を掲載した。

(2) 大阪市営バスへの広告掲載

大阪市営バスの中型車両の車両後部に、『ぼくにもほしいパパとママ』と呼びかけ、『かていよう

ご』というキーワードで検索を案内する広告を掲載した。平成27年3月から企画等をすすめ、実際には4月上旬から、大阪駅前発着の市内5系統を走る中型車両1台に掲載されている。

(3) 阪急バスへの広告掲載

大阪市営バスより一回り大きく、車両後部すべてを覆う形の広告を掲載。平成27年3月から企画等をすすめ、阪急梅田から豊中、箕面周辺を走るバスに5月より掲載予定。

【週末里親制度説明会】

『週末里親ってなあに？』と題して説明会を開催した。今回は、週末里親制度の説明の後、大阪市港区にある児童養護施設入舟寮の松木里親支援専門相談員より児童養護施設について、また児童養護施設で暮らす子どもにとっての週末里親の意義について話をいただいた。その後、参加者から週末里親制度に関する質問を受け、それに対して協会職員、施設職員が答える時間を作った。松木氏が写真を使いながら分かりやすく児童養護施設について説明してくださったので、参加者から有意義だったという感想が多く聞かれ、好評であった。参加者からは家族でよく相談した上で面接を受けたいという感想もあり、登録に結びつくのではないかと期待している。個別相談ほど敷居を高く感じずに参加できるこのような形式での説明会を定期的におこなうことで、週末里親制度の周知、新規登録者の増加につながれるのではないかと感じている。

日時	3月7日(土) 10時～11時30分
場所	大阪市立社会福祉センター
内容	①大阪市週末里親制度について ②児童養護施設の現状と週末里親の必要性について
参加者	7家庭8名、里親支援専門相談員4名 講師(施設職員)1名

【愛の手街頭キャンペーン】

里親制度や協会活動の広報のための街頭キャンペーンには、平成6年度から大阪曾根崎ライオンズクラブのご支援を得ている。この活動はクラブの奉仕活動として位置づけ、取り組んでいただいている。今年度は、玩具につけるチラシを新たに作製してもらい、また、玩具へのチラシの貼り付け作業も、クラブのメンバーの皆さんにお手伝いいただいた。5月15日(木)と10月2日(木)にJR大阪駅前前で実施。チラシをつけた玩具(2回あわせて4,280個)を通行人に配布し、里親制度及び協会活動の広報をおこなった。玩具の仕入れ代とチラシ作製費の141,795円を、大阪曾根崎ライオンズクラブより寄付として受領した。

【里親いろいろ応援団】

大阪市里親施策推進プロジェクト会議の活動の一環で、平成21年度より市民ボランティア「里親いろいろ応援団」が結成され、協会が事務局となって活動を行っている。毎月定例会を開催しているが、平成24年度より大阪市管の施設の里親支援専門相談員も定例会に参加するようになり、活動がより活発化した。

8月24日(日)	西成区の智崇院の地藏盆で広報(輪投げゲーム) 集まってきた50人ほどの子どもが輪投げを楽しむとともに、その保護者等に対しては里親制度のチラシを配布した。
8月～ 平成27年2月	イオン鶴見緑地店にてイエローシートキャンペーンに合計7回参加 以前大阪市里親会がおこなっていた活動を引継ぎ、イエローシートキャンペーンに参加した。里親制度の広報のため、買い物客に里親制度のチラシ配布もした。
12月14日(日)	あべのハルカス近鉄本店の縁活プログラム ミニイベントとして、リコーダー演奏、紙芝居とクイズ、ゴスペルグループによる合唱をおこない、集まってくれた聴衆に対して、里親制度についての広報活動を実施。また、里親子、養親子向けのメッセージを集めたパッチワークキルト作成のために、メッセージやイラストを寄せてもらった。
1月18日(日) べ 幸	クレオ大阪南(大阪市平野区)で、『里親応援フェスタ 歌とドラマとおしゃべりで知る里親制度』を開催。「母にささげる詩～親子だもん～」の合唱、「今、せをかみしめて…」と題した元里子による体験発表、関西テレビのドラマ「あ

り
子 がつ、オカン」の上映をおこなった。また、喫茶コーナーを設けたり、里親
養親子へのメッセージキルトの展示などもおこなった。参加者は124名。
その他、大阪市子ども相談センター主催の里親向け研修会、協会50周年記念事業などにボランティア
ア等で参加。大阪市里親施策推進プロジェクト会議にもオブザーバー参加している。

【毎日新聞その他による報道記事】

- H26. 5. 5 「親子むすび あなたの愛の手を 50年 多田健司さん-上 3歳 俺の出発点」(毎日)
5. 6 「親子むすび あなたの愛の手を 50年 多田健司さん-中 届いた母の思い」(毎日)
5. 8 「親子むすび あなたの愛の手を 50年 多田健司さん-下 『もっと親孝行を』」(毎日)
5. 9 「親子むすび あなたの愛の手を 50年 西口恵子さん-上 血縁なき6人」(毎日)
5.10 「親子むすび あなたの愛の手を 50年 西口恵子さん-下 育てて得た自信」(毎日)
5.11 「親子むすび あなたの愛の手を 50年 坪内弘さん-上 実母のドアたたく」(毎日)
5.12 「親子むすび あなたの愛の手を 50年 坪内弘さん-下 今度は私が里親に」(毎日)
5.16 「里親制度街頭PR 家庭養護促進協会」(毎日)
5.16 「里親制度へ理解を 大阪駅前呼びかけ」(読売)
5.16 「わが子よ 続・生みの親、育ての親 ① 養子だと友に言えず」(岐阜新聞他)
5.17 「わが子よ 続・生みの親、育ての親 ② うちの親、すごいやろ」(岐阜新聞他)
6.19 「わが子よ 続・生みの親、育ての親 番外編③ 笑顔の裏 壮絶な日々」(愛媛新聞 他)
6.20 「わが子よ 続・生みの親、育ての親 番外編④ 愛伝える『真実告知』」(愛媛新聞 他)
7.20 「愛の手50周年 多くの人の協力支えに 家庭養護促進協会 岩崎美枝子さん」(毎日)
8. 3 「愛の手50周年 温かい家庭多くの子に 『聖母託児園』藤川繁美さん」(毎日)
8.10 「愛の手50周年 子育ての覚悟問うことも 家庭養護促進協会 田辺さん」(毎日)
7.24 「愛の手紡いだ半世紀 養子縁組願い 紙面掲載2500回」(毎日)
9.12 「愛の手50周年 27日阿倍野 里親に出会い成長した20人」(毎日)
9.28 「『愛の手』50周年イベント 養父母が夢かなえさせてくれた」(毎日)
9.28 「愛の手50周年 里親探しこれからも 阿倍野 支援者ら180人が祝賀会」(毎日)
10. 3 「里親制度への理解呼びかけ JR大阪駅前」(毎日)
10.12 「愛の手50周年 阿倍野でトークイベント 子育て中の里親ら熱心に」(毎日)
11. 4 「愛の手運動 尽力 今井鎮雄さん93歳 死去」(毎日)
11. 8 「未来への手紙プロジェクト 愛するあなたへ (あなたのおばあちゃん)」(毎日)
12.14 「西川きよしさん 似顔絵入り日本酒寄贈 愛の手チャリティーオークション」(毎日)
H27. 1.10 「温かい心 これからも 本社チャリティーオークション 収益133万円寄託」(毎日)
1.10 「今宮戎神社で福あめ売り 家庭養護促進協会」(毎日)
1.15 「里親応援フェスタ 18日に平野区で体験発表も/大阪」(毎日)
1.20 「TOWN 募る『週末里親』ってなあに？」(朝日)
2.25 「『週末里親』の説明会」(読売)
3. 4 「『週末里親』7日説明会 家庭養護促進協会」(毎日)

【各地・各団体での講演会等で講師として活動の紹介等をした】

- H26. 5.11 静岡市里親家庭支援センター講演スキルアップ研修会(岩崎)
7.12 近畿地区里親研修会(山上)
7.26 平成26年度島根県里親会総会(岩崎)
8.27 共立女子大学家政学部児童学科講義(山上)
9.21 河南つつじ会、富田林子ども家庭センター主催の里親シホジウム&相談会(和田)
9.30 堀川愛生園(福島県)職員研修(岩崎)
10.15 大阪YMCAエイジングセンターベビシックス体験科B・C「里親制度について」(和田)
11.12 バット博士記念ホーム職員研修会(岩崎)
11.16 平成26年度第2回中信地区里親研修会(岩崎)
11.29 平成26年度山形県里親研修会(岩崎)
12. 2 四恩学園乳児院職員研修(田邊)
12.15 大阪産婦人科医会・大阪府主催「特定妊婦の連携と支援について～医療と行政の連携～」(中

島)

- 12. 17 田島童園職員研修 (岩崎)
- H27. 1. 29 愛知県里親関係者研修「週末里親～家庭養護促進協会の活動から見える課題」(山上)
- 1. 31 宮崎中央地区里親会研修会(岩崎)
- 2. 1 鹿児島県里親支援専門相談員を対象にした研修会 (於: 愛の聖母園) (岩崎)
- 2. 8 徳島県里親会研修会 (於: 徳島児童ホーム) (岩崎)
- 3. 1 静岡県東部児童相談所平成26年度里親ステップアップ研修 (岩崎)
- 3. 7 日本福祉文化学会関西ブロック (岩崎)
- 3. 7 滋賀県委託・未委託里親研修会『真実告知について』(山上)
- 3. 14 日本こども支援協会主催『奈良県シホジウム～養子縁組について考える 奈良県の未来～』(田邊)
- 3. 22 G I D学会第17回研究大会 (和田)

Ⅲ. 広報と活動資金獲得のための活動

【えべっさん飴売り】

例年通り、下記のようにおこなった。飴の業者の都合で種類や数も十分な仕入れができない状況がここ数年続いていたが、今年はさらに仕入数が予定よりかなり少なく、しかも十日戎直前になって、そのことが分かったため、3日目は夕方には完売になってしまった。協会の支援者である向井珍味堂のご協力を得て、福豆をあわせて販売したり、一昨年より「七福神キャンディ」「七福神チョコボール」等の販売もしているが、メインである「福飴」について、今後どうするかを検討をすすめている。今年も3日間でのべ65名のボランティアさんにご協力いただいた。協会の活動紹介と支援依頼文を印刷したチラシ、また1月18日開催の「里親応援フェスタ」のチラシも配布したところ、フェスタの参加増に結びついた。

日時 1月9日(金)～11日(日)
場所 今宮えびす神社
収益 787,334円
チャリティーボックスへの寄付 144,832円

Ⅳ. 研修活動

【職員のための研修】

- H26. 4. 26 全国養子縁組団体協議会主催「第1回養子の日記念 養子縁組団体フォーラム～家族はいろいろあっていい、すべての子どもに幸せな家庭を」に出席 (岩崎)
- 5. 10 社会福祉法人聖家族の家満80周年記念講演会に出席 (岩崎、山上、田邊、広瀬)
- 7. 12 近畿地区里親研修会 (中島、和田)
- 10. 1-3 小舎制養育研究会 (岩崎)
- 10. 16 平成26年度ネットワーク型市民セミナー『今なぜ里親が必要なのか?』第1回(山上)
- 10. 23 平成26年度ネットワーク型市民セミナー『今なぜ里親が必要なのか?』第2回(山上)
- 11. 8 養子と里親を考える会 第117回定例会 (岩崎)
- 11. 14 育児・介護休業法改正に関する意見交流会 (岩崎)
- 11. 29 大阪市里親会シホジウム「親とくらしえない子どもたちの今」(山上・和田)
- H27. 2. 2-3 小舎制養育研究会第1回会員研修会 (岩崎)
- 2. 8 ISSJ主催「養子と養親の国籍が異なる養子縁組 国際養子縁組に関する勉強会～子どもの家庭的養護の選択肢として～」(和田)
- 2. 28 養子と里親を考える会 第121回定例研究会(岩崎)
- 3. 8 静岡大学人文社会科学部主催『社会的養護と養子縁組～世界と日本』(山上)
- 3. 21 G I D学会第17回研究大会 (和田)

Ⅴ. ホームページ関連

平成11年3月にホームページを開設、平成22年度より新たに作り替え始めていたページを更新し、新ページへと移行が済んだ。開設以来のアクセス数の合計は50万件を越えた。インターネットが情報収集の際の材料となる傾向はますます深まっている。一昨年度からは、新たにFacebookページを作成し、毎日新聞社ホームページの「愛の手」記事欄へリンクを貼ったり、里親制度に関するイベントの広

報、日常の協会活動などについて定期的な発信を続けている。
 ホームページを通じての今年度の書籍購入は76件163冊。会員入会は4件であった。
 メール相談については、以下のとおり。開設からの累積受付件数は1,329件となった。メール相談を通じて来所につながった養子縁組希望者が7件、週末里親希望者が4件あった。

【地域別】

大阪府下	20
近畿圏内（大阪府を除く）	5
近畿圏外	21
海外	3
不明	20
合計	69

【相談者の年齢】

10代	2
20代	3
30代	11
40代以上	16
不明	37
合計	69

海外：ブラジル、カナダ、オーストラリア 各1件

【相談内容】

養子を育てたい	41
里親一般について知りたい	2
縁組・入籍等の手続きが知りたい	2
週末里親について知りたい、やりたい	11
国際養子について知りたい	3
養子になりたい、里親を探してほしい	1
養育相談	1
その他	8
合計	69

*メール相談を通じて来所
 養子縁組希望 7件
 週末里親希望 4件
 その他 2件

VI. 相談事業

【愛の手相談室】

平成11年度から、全国里親会より「里親養育電話相談事業」として「血のつながらない親と子のためのホットライン」を3年間のモデル事業としてスタートしたが、その委託期間が終了してからも、協会の事業としてホットラインを継続している。（相談電話専用番号：06-4304-1085 月～金 11：00～17：00）

これまでホットラインとしての相談件数を別に挙げてきたが、昨年度より統計上はこれまでの愛の手相談室に組み入れている。本年度の相談の現状については以下のとおり。

「縁組後のアフターケア」は、思春期の子どもを持つ養親からの相談、養子自身からのルーツ探しなどの相談が見られる。

相談内容	総数	電話	来所・訪問	備考
養護相談	9	8	1	
養育相談	12	9	3	
縁組後のアフターケア	20	11	9	思春期、非行、ルーツ探し等
継続相談	1	0	1	
その他	10	6	4	
合計	52	34	18	

【APCC（思春期妊娠危機センター）】

相談件数はかなり減少傾向にある。（相談電話専用番号：06-6761-1115 月～金 10：00～17：00）

【受付件数】 オープン後からの累積受付件数は、6,567件

本年度の相談件数は、以下のとおり。

相談内容	件数	相談内容	件数
妊娠にまつわるもの	8	性病	0
人間関係の悩み	0	近親姦	0
自分の身体の悩み	8	How to Sex	2
マスターベーション	2	養子縁組	0
避妊法について	0	その他	1
同性愛	0	合計	21

VII. 「ふれあいの家」活動

現在閉鎖中で、平成16年3月に「社会福祉法人そうそうの杜」と新たに賃貸契約を結び、知的障害者の生活支援のためのグループホームとして貸与していたが、老朽化が進み、厳しくなった耐震や消防の基準を満たさないため、平成27年5月末で契約終了予定である。

Ⅷ. 大阪事務所50周年記念事業

大阪事務所50周年を記念して、9月27日（日）に記念事業としてトーク「成長した子どもからのメッセージスペシャル 血は水より濃いのか!？」を大阪市立阿倍野区民センター小ホールにて開催し、262名の参加があった。同日に天王寺都ホテルにて行った祝賀会には183名の参加があった。

トークは20～50歳代の成長した養子、元里子20人に、育て親、実親への思い、ルーツ探し、生き方など様々に語っていただいた。出演者も出てよかったと言ってくださり、聴衆の反響もよかった。

祝賀会では、歴代の新聞記者や児童相談所、施設、元協会職員、ライオンズクラブ、養親、里親、出演者など多数出席していただき、和やかな会となった。

事業開催にあたっての資金協力を募ったところ、合計2,981,675円の寄付金をいただいた。

記念事業の報告書の作成については、日本財団の助成をいただき、5月中に完成する予定である。

Ⅸ. 大阪市週末里親開拓事業

平成6年7月から、大阪市より委託された事業であり、制度がスタートして20年が過ぎた。今年度は17名の児童の新規登録があり、うち5名が活動を開始した。方針変更検討のため3名が中止、3名が保留。6名を引き続き探す。昨年と同様に、里親登録者の受入希望児童の年齢が小学校低学年以下や女兒に偏りがちであるため高齢児は決まりにくく、また、発達の遅れや多動傾向や発達障害がみられる子どもは受け入れ希望者があまりなく、なかなか決まりにくい。昨年度未委託であった22名のうち5名が活動を開始し、2名は施設へ推薦中、1名が現在里親希望者へ打診中である。残りの14名のうち、方針変更のため5名が中止、4名が保留、引き続き週末里親を探す児童は5名である。

未委託の登録里親については、里親が希望する年齢や性別、距離等があわず、適当な候補児がなく、待たせてしまっている場合もある。今年度は来所して申込書を提出した21家庭のうち17家庭が登録し、3家庭が年度内に活動を開始した。より広く里親家庭を募ったり、様々な課題のある子どもへの理解を深める等の試みをしたりして、マッチングまでつなげていく必要がある。協会外の里親（制度開始以前から活動中の里親、施設職員、施設が独自に開拓した里親）は委託里親数73名、委託児童数79名となっている。

〈週末里親開拓〉

	26年度	累計
電話等問い合わせ件数	42	1478
申込書提出件数	21	482
登録件数	17	382
調査件数	6	177

〈平成26年度活動状況〉

里親数		委託数	解除数	27年度へ継続
	26年度中に新規委託	9	0	9
	25年度以前からの委託継続	44	7	37
	合計	53	7	46

児童数		登録	中止	委託数	解除数	27年度へ継続	未委託
	26年度中に新規登録	17	3	5	0	5	9
	25年度以前に未委託	22	5	5	0	5	12
	25年度以前からの委託継続			45	7	38	
	合計			55*	7	48*	21

*里親数と一致しないのは1名の里親に2名の児童がマッチングがされている里親が2組いるため

〈委託解除された子どもの理由内訳〉

委託解除理由	26年度	累計	委託解除理由	26年度	累計
実親引き取り	2	18	施設措置解除	2	28
養子里親委託	1	16	施設措置変更	0	5

養育里親委託	0	11	府へケース移管	0	2
里親の都合	0	18	その他	0	2
里親子関係悪化	2	31	合計	7	131

【週末里親懇談会】

(1) 9月20日（土） 13:30～16:00（対象：里親、施設職員）

今回は「研修会」の形で実施。大阪市天王寺区にある児童養護施設高津学園の心理士鈴木真帆氏に、児童養護施設の入所児の性にまつわる現状と性教育について、高津学園での実践を通してお話いただいた。

参加数 里親18家庭23名、施設職員15カ所22名、大阪市こども相談センター1名

(2) 4月18日（土） 13:30～16:00（対象：里親、施設職員）

後期の懇談会は3月末まで謝礼金を配付する目的も兼ね、4月に実施している。今回は例年通りの「懇談会」スタイルで、関わっている子どもの年代を特定せず、3グループに分かれ、話し合いをおこなった。

最近活動をはじめた里親もおり、里親同士で経験を共有したり、アドバイスしあったりするなど、活発な意見交換がなされた。懇談会終了後、部屋を開放していたため、週末里親同士、また週末里親と施設職員等、個別に話す様子も見られ、貴重な時間を作ることができた。

参加数 里親12家庭16名、施設職員16カ所23名、大阪市こども相談センター1名

X. 大阪市よりのその他の委託事業

【大阪市里親制度普及促進事業】

平成24年度より公募事業となり、委託事業者としての選定を受けた。これまでおこなってきた、愛の手運動による里親の開拓、養親子のアフターケア、研修等はこの事業に含まれる。

また、認定前研修、更新研修の講義の企画、運営、施設実習における事務処理等をおこなっており、認定前研修の講義については基本的に府市合同でおこなっている（内容については次項）。

XI. 大阪府里親支援機関業務

平成20年10月に大阪府より里親支援機関としての業務委託を受けた。

業務内容は、里親制度の普及啓発、里親研修、里親委託推進のための相互交流、施設入所児童を対象とする週末里親事業の実施等である。

【里親制度普及促進事業】

〈里親希望者への研修〉

◆基礎研修（講義・演習、施設見学）

日時	①H26.4.30 ②H26.7.27 ③H26.10.25 ④H27.1.30 10:00～17:00
場所	①③大阪西本願寺常照園 ②④ガーデンエル・ロイ
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・講義 「子どもの発達」 ころみカウンセリングセンター 西部美志氏 ・講義 「子どもの医療と保健」 常照園：西川千絵氏 ガーデンエル：米田和代氏 ・講義と施設説明 常照園：里親支援専門相談員 小川健二郎氏 ガーデンエル：里親支援専門相談員 坂根美保氏 ・施設見学 ・グループ討議
参加者	①養育6組11名 養子1組2名 ファミリーホーム1名 ②養育6組10名 養子8組16名 ③養育7組13名 養子5組10名 ④養育2組4名 養子3組6名

・参加者が多くなっているため、見学時に子ども達が圧迫感を感じるとの施設からの指摘があり、今後どうしていくかの検討が必要である。ただ、里親は施設と同様社会的養護の担い手であり、施設にはできる範囲での協力をお願いしたい。

◆認定前研修 I・II（大阪市と合同）

日	①H26.5.18/5.31 ②H26.8.2/8.27 ③H26.11.10/11.29 ④H27.2.15/2.28
---	--

時	13:00～17:00				
場所	大阪市立社会福祉センター、大阪市こども相談センター				
内容	I・講義 「里親養育の様々な課題」 家庭養護促進協会 岩崎美枝子 ・演習 「子どもを引き受けたら何が起こるか」 同上 II・講義 「里親養育の基本及び最低基準」 ①吉川敬子 ②和田静 ③井手貴夜子 ④中島悦子 ・講義 「子どもの権利擁護」 ①④弁護士 西村英一郎氏 ②③弁護士 浜田真樹氏 ・先輩里親体験談 ①大阪里親連合会 池田支部 志賀道雄氏 ② 〃 中央支部 牧野博子氏 ③ 〃 富田林支部 佐々木省三氏 ④大阪府登録里親 永野美恵子氏				
参加者		①	②	③	④
I		養育1組 1名 養子1組 2名 ファミリーホーム1名	養育9組16名 養子8組15名	養育7組11名 養子3組 6名	養育5組 8名 養子4組 8名 ファミリーホーム2名
II		養育7組11名 養子2組 3名 ファミリーホーム1名	養育6組10名 養子7組13名	養育7組13名 養子5組 9名	養育4組 6名 養子3組 6名 ファミリーホーム2名

◆認定前研修（実習）

日時	H26.4～H27.3
場所	乳児院4か所 児童養護施設14か所
内容	施設実習
参加者	養育18組33名 養子14組28名

◆里親更新研修

日時	H26.11.15
場所	大阪市立社会福祉センター
内容	・講義 「社会的養護の現状と里親委託推進のための取り組み」 大阪府中央子ども家庭センター 地域相談課長 森泉摩州子氏 ・講義 「ほめることで変わる子育て方法」 情緒障害児短期治療施設あゆみの丘 児童指導員 松川和人氏 ・講義 「思春期を共にのりこえるために」 関西福祉科学大学社会福祉学部 元教授 松宮満氏 ・グループ討議
参加者	7組14名

◆専門里親更新研修

日時	H26.12.4
場	大阪府立子どもライフサポートセンター

所	
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 講義 「社会的養護の現状と里親委託推進のための取り組み」 大阪府中央子ども家庭センター地域相談課長 森泉摩州子氏 ・ 講義と見学 「子どもライフサポートセンターで生活する子どもたち」 大阪府立子どもライフサポートセンター自立支援課長 寺田武彦氏 ・ 講義 「世間で行われていることは本当？～思春期と非行～」 関西福祉科学大学社会福祉学部 元教授 松宮満氏 ・ 事例検討 事例提供 大阪府中央子ども家庭センター
参加者	11名

【里親委託推進・支援等事業】

(1) 会議への参加

◆ 里親委託等推進委員会調整委員会

日時 ①H26. 5. 26 ②H27. 2. 12

内容 ①・平成25年度活動状況報告 ・平成26年度里親委託推進の取り組み
②・平成26年度活動状況報告 ・来年度に向けた取り組みについて

◆ 里親委託等推進合同連絡会

日時 ①H26. 5. 26 ②H26. 10. 23

内容 ①〇里親委託等推進調整委員会の報告
・平成25年度活動状況報告 ・平成26年度里親委託推進の取り組み
〇里親支援専門相談員の業務の進め方について
②・前期の取り組み報告 ・子ども家庭センターより連絡 ・後期里親開拓に向けた活動

動

についての協議

◆ 里親連合会支部長会議

日時 ①H26. 6. 25 ②H26. 8. 4 ③H26. 10. 6 ④H26. 11. 28 ⑤H27. 1. 19

内容 ①②・夏季宿泊研修について ・普及啓発活動について ・表彰関係
③④・府シンポジウムについて ・春季里親研修について
⑤ ・助成金の活用 ・国への要望事項について

(2) 相互交流事業

◆ 新規委託里親研修

日時	H27. 3. 3 13:30～16:00
場所	大阪市立社会福祉センター
内容	先輩里親の話とグループ討議 先輩里親 大阪里親連合会中央支部 栗川みさえ氏
参加者	養育里親 1名 養子里親 1名

12月に予定していたが、参加希望があまりにも少なく3月に延期した。しかし、今回も2組と非常に少なかった。ただ、先輩里親と新規委託里親の話し合いは活発で、小さい単位での交流の意義はあると感じられた。今後当研修を継続するならどう工夫するかを検討が必要である。

◆ 課題別研修

① 講義とワーク(大阪市と合同)

日時	H26. 9. 13 13:30～16:00
場所	大阪市立社会福祉センター

内容	講義とワーク 「話してみましょ うちの子育て 聞いてみましょ みんなの子育て」 講師 NPO法人 チャイルドリソースセンターマネジャー 河合克子氏
参加者	府里親12名 週末里親4名 市里親16名 里親支援専門相談員12名

② 講義(大阪市と合同)

日時	H26.11.21 13:30~16:30
場所	大阪市立社会福祉センター
内容	講義 「癒しの親になるには」 講師 クロスフォード・フォー・ソーシャルワーク社 所長 ヘネシー澄子氏
参加者	府里親10名 市里親17名 里親支援専門相談員7名

③ 講義(大阪市と合同)

日時	①H27.2.23 10:30~12:30 ②H27.3.7 10:30~12:30 ③H27.3.7 13:30~15:30
場所	大阪市立社会福祉センター
内容	講義 「子どもの発達」 講師 ころみカウンセリングセンター 西部美志氏 ①学童期 ②思春期 ③発達障がい
参加者	①府里親 11名 府週末里親 2名 市里親 8名 ②府里親 6名 府週末里親 7名 市里親 10名 ③府里親 9名 府週末里親 2名 市里親 6名

(3) 里親会主催：親と子の夏季宿泊研修への助成

日時 H26.8.16~17

場所 愛知県知多郡南知多町方面

内容 1日目 体験発表とグループ討議 2日目 リニア鉄道館、亀山あんぜん文化村見学

参加者 58名(子ども22名)

(4) 地域シンポジウム(相談会)

センター名	日時	場所および内容	
池田	H26.5.24 10:00~12:00	豊中市ルシオーレホール 養親の体験発表、施設職員の講演、個別相談会	47名 相談9組12名
	H27.2.7 10:00~	豊中市ルシオーレホール 里親の体験発表、個別相談会	39名 相談2組
富田林	H26.6~H27.3	管内市町でミニ里親相談会	
	6.23	河南町子育て支援センター	1組
	9.21	河内長野市立子育て支援センター シンポジウムと相談会	一般7組 相談3組
東大阪	H26.7.26 13:30~16:00	布施リージョンセンター 里親の体験談、里子からのメッセージ、個別相談会	69名 相談3組
岸和田	H26.10.18 13:30~16:00	岸和田市浪切ホール 里親相談会	相談9組

中央	H26. 11. 3 8:00～	淀川市民マラソンへの参加	60名
	H27. 3. 15 13:30～16:00	イオンモール寝屋川 里親相談会	9組
吹田	H27. 2. 15	島本町ふれあいセンター 地域集会、個別相談会	49名 相談3組

(5)大阪府里親シンポジウム

日時 H26. 12. 14 13:30～16:00
 場所 千里文化センター「コラボ」
 内容 里親家庭の物語、里親体験談、元里子からのメッセージ、相談会
 参加者 137名

【週末里親事業】

毎年10組程度の週末里親子が成立し、確実に増えている。当事業は施設で生活する子どもにとって、貴重な家庭生活体験の場になっている。

①活動実績 23施設 児童72名 延べ回数 633回 延べ日数 1374日
 うち、平成26年度新規週末里親子は10組12名

②2泊3日里親事業

長期休暇中家庭に帰れない子どもを対象に、待機となっている週末里親希望者の中から協力者を募り、2泊3日の家庭生活を体験することを目的として実施。

	協力家庭数	候補児童	マッチング数(家庭数)	うち週末へ移行
夏季	16	19	5(5)	3(3)
冬季	—	26	6(5)	4(3)

③大阪府週末里親懇談会の実施

週末里親に集ってもらい、活動の様子や日頃感じている悩みについて、情報や意見を交換した。
 日時 H26. 7. 5
 参加者 週末里親 21組31名 施設職員 12名

④週末里親研修

新たな試みとして週末里親活動希望者に対し、社会的養護を必要とする子どもを理解してもらう、子どもが生活している施設の実情を知ってもらうことを目的として実施。

日時	H26. 6. 29
場所	子供の家
内容	・講義 「社会的養護が必要な子どもの理解」「週末里親と関わりのある子どもについて」 子供の家 里親支援専門相談員 大森啓代氏 ・施設見学と子どもたちとのふれあい ・週末里親活動 手続きや施設との連携について
参加者	14組23名

施設で子どもたちがどのように生活しているのかがよくわかり、週末里親活動する意義の深さを理解できたという声が多かった。

XII. 生活資金・奨学資金貸付制度

平成25年度に21歳男性（養子）が自立支援フリースクールへ通う学費1年分を、教育支援資金として316,800円貸し付けた。男性は派遣社員として就労し、26年度は63,360円の返済があった。新たな貸し付けはなかった。

XIII. その他の活動

◆新聞社等マスコミからの取材に対応した。

- H26. 4. 2 関西テレビ寺西記者
4. 9 毎日新聞遠藤記者 来所取材 元里子Tさんと実母Mさんへのインタビュー
4.16 毎日新聞社遠藤記者、久保カメラマン 来所取材 50周年T氏インタビュー
4.23 共同通信金子記者 来所取材
5.30 共同通信金子記者 来所取材
7. 9 毎日新聞遠藤記者
7.10 毎日新聞武内記者 愛の手2500回特集
7.15 毎日新聞遠藤記者
7.16 毎日新聞武内記者 愛の手2500回特集
7.18 毎日新聞武内記者、小松記者 愛の手2500回特集
12.18 読売新聞高倉記者、障害児の養子縁組について取材
H27. 1. 7 毎日新聞遠藤記者 来所 元里子Mさんへ取材
3.20 産経新聞田中記者 来所取材

◆協会活動や里親制度等について知るために以下の人々の訪問があった。

- H26. 5. 7 高津学園里親支援専門相談員大熊氏
6.18 清心寮里親支援専門相談員安原氏
6.20 会員の宮田氏
6.24 入舟寮里親支援専門相談員松木氏、池島寮同相談員新免氏
7.14 日本社会事業大学院生赤尾氏（協会の調査方法について）
7.16 大阪弁護士会岡崎弁護士、森本弁護士（告知について）
7.22 東京都立三田高校3年生糸賀さん
8.11 共立女子大学坂本先生と横浜市こども青少年局こども福祉保健部長細野氏
9. 1 児童養護施設北光学園湯浅園長、米内山副園長、岡部指導課長、共立女子大学坂本先生
9. 8 立命館大学衣笠総合研究機構吉田氏、大阪府中央子ども家庭センター企画情報室長林氏（厚生労働科学研究委託費による研究プロジェクト「児童の養子縁組あっせんに関する研究」のヒアリング調査）
9.17 大阪市ボランティア・市民活動センター副主幹川口氏、小野氏（大阪市地域貢献活動マッチングシステム事業の取組みについて相談）
10. 7 大阪樟蔭女子大学4回生杉本さん（卒論の情報収集）
10. 9 獨協埼玉高校池沢さん（卒論の情報収集）
10.17 東京工業大学外国語研究教育センター准教授木山ロリнда氏（『日本における特別養子縁組仲介者の経験について』調査）
11. 5 大阪市こども相談センターの音田課長代理、宮本係長（LGBTと里親制度について検討）
11.10 榊淀川区長、淀川区役所白方市民協働課長代理他1名（里親開拓運動の取組みについて）
11.19 大阪府福祉部子ども室家庭支援課薬師寺参事、杉本副主査（来年度支援機関事業方針）
11.19 弁護士の南裕史氏、情報収集

◆大阪市こども相談センター主催の出前相談会に相談員として協力した。

- H26. 6.10 大阪市中央区里親相談会（山上）
7.17 大阪市福島区里親相談会（広瀬）
8.15 大阪市西淀川区里親相談会（山上・中島）
9.21 大阪市浪速区里親相談会（山上）
10.24 大阪市都島区里親相談会（和田）

- 11.12 大阪市東成区里親相談会（田邊）
- 12.12 大阪市港区里親相談会（中島）
- H27. 1.16 大阪市西区里親相談会（和田）

◆以下の企業や団体が愛の手運動のためにという趣旨でイベント等を企画し、その収益を活動資金等として寄贈いただいた。いずれの場合も、単にご寄付を受けたということだけではなく、愛の手運動のPR活動としての効果もあり、感謝している。

- *日本こども支援協会より子ども衣類、玩具多数
- *グローバルアシスト神谷理事より玩具多数
- *一般社団法人 大阪府宅地建物取引業協会青鳩会（83,000円）
- *もとたまりコーダー教室クリスマスチャリティーコンサート（23,500円）
- *毎日新聞大阪本社社会部第46回愛の手チャリティーオークション（1,330,000円）
- *大阪曾根崎ライオンズクラブ1月第2定例会に出席（400,000円）
- *一般社団法人 大阪府宅地建物取引業協会泉州支部（203,117円）
- *一般社団法人 大阪府宅地建物取引業協会チャリティーボウリング大会（297,390円）

◆府子ども家庭センター里親担当者会議に出席し、大阪府子ども家庭センター、大阪市こども相談センター、堺市子ども相談所との連絡調整に努めた。

◆あたらしいふれあい第4編『あしたから家族』を9月に明石書店より出版した。

◆日本財団の「ゆりかご助成金」に申請し、7,960,000円の助成を受けた。